

2025 年度 総合政策学部 FD 活動方針・活動計画

2025 年度総合政策学部 FD 活動方針

今年度の FD 活動の方針として、次の二点が挙げられる。

- ① 総合政策学部の初年次教育では、Q1 に**総合政策基礎演習 A**、Q2 に**総合政策基礎演習 B**、Q4 には**総合政策基礎演習 C**が開講されている。これらのうち、総合政策基礎演習 A では Microsoft Word、Excel の基礎を修得し、総合政策基礎演習 B ではそれを踏まえて「学術的文献と思考法」「データ分析と思考法」「ものの見方と思考法」について講義と演習を組み合わせた方法を採用している。また、総合政策基礎演習 C は Microsoft PowerPoint を用いたプレゼンテーションを軸としている。これらのうち、とくに総合政策基礎演習 B は、2022 年度に大きく改めたため、そのレビューを行うとともに今後の初年次教育のあり方を再検討したい。現在、これらの科目群では 2017 年度に作成された教科書『知の演習』を用いているため、その後のディプロマ・ポリシーの深化や教学マネジメントの進展についても、議論をはじめめる。
- ② 2024 年度より、教学データを可視化する一環として、GPS-Academic が実施されている。2024 年度の実検率は、1 年次生では 80.8% (240/297) に達したが、3 年次生は 65.0% (197/303) にとどまっている。学生の受検率を高めるには、教学データの効果的な活用が求められる。また、教学データの活用については、2024 年度の FD 研修会において若干の検討をはじめたものの、まだ実効ある活用には至っていないため、引き続き議論を進める。

2025 年度総合政策学部 FD 活動計画

この活動方針に基づいて、以下の項目に取り組む。

- ① 春学期中に FD 懇談会を開催し、総合政策基礎演習の再検討と『知の演習』の改訂に向けた議論をはじめめる。
- ② 秋学期中に FD 懇談会を開催し、教学データを検証し、その具体的な活用に向けた議論を進める。
- ③ 上述の①を含め、長期的な視点より今後の総合政策学部のカリキュラムのあり方について、年度末（2025 年 3 月 10 日開催の学部教授会）に設置した「カリキュラム等検討 WG」を中心に検討を進め、適宜、FD 懇談会にて情報を共有し、議論を深める。